



台風・大雨被害に備えましょう



近年、台風や局地的な大雨により、冠水や道路の寸断など、畜産経営に影響の出る被害が発生しています。今後も台風等による災害発生リスクがあることから、減災のための取組に努めましょう。

【事前の対策】



1. 畜産施設については、損傷、倒壊等为了避免するため早めの点検を行い、必要に応じて補修を行う。
2. 畜産施設への浸水の恐れがある場合、溝を掘るなどの対策を講じる。また、畜舎への浸水等による家畜への被害に備え、事前に避難場所の確認などを行う。
3. 停電や断水等への対応を確認し、必要に応じて発電機等の手配をするとともに、搾乳作業やバルククーラーの冷却に支障のないよう、万全を期す。

【事後における対策】



1. 飼料作物
冠水や浸水等の被害を受けたほ場においては、速やかな排水に努める。
2. 家畜
養分の低下した飼料作物や品質の低下した濃厚飼料の給与をする場合は、栄養価や嗜好性等にも配慮し、家畜の生産性が低下することのないよう注意する。
3. 畜舎
天候が回復した後、直ちに畜産施設内及びその周辺の排水を行う。また、土砂が流入した場合には、再度の土砂流入等の事故に十分注意しつつ、土砂を除去する。台風通過後は、畜舎内外の消毒を徹底し、疾病等の未然防止に努める。

山梨県東部家畜保健衛生所

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005または090-5544-7868